



# 親子のふれあい

～絵本をひらいてみませんか～



本日の進行役（ファシリテーター）

\*

読み聞かせ・・・大切だって聞いたことがあるけれど

忙しい、時間がない・・・

上手に読めるかな・・・

何を読んだらいいかわからない・・・



## みんなのルール

- ・話をしたくない時は、聞いているだけでもいいですよ。
  - ・うまく話ができなくてもいいですよ。
  - ・他の人が話をしている時はみんなで聴きましょう。
  - ・プライベートな話は外へ持ち出さないようにしましょう。
  - ・この時間を楽しみましょう。
- ～お願い～
- ・携帯やスマートフォンはマナーモードまたは電源を OFF にご協力ください。

## 絵本の読み聞かせ みなさんはどうしているの？



### ワーク1

みなさんの絵本の読み聞かせについて  
情報交換をしてみましょう

絵本を読んで  
いますか？

お子さんの様子  
はどうか？

誰が読んで  
いるかな？

好きな本を  
教えて！

## ～子どもと絵本を楽しむために～

## ワンポイントアドバイス



ご家庭で子どもと読む絵本には特別な制約はありません。  
読みたいように親子で楽しみましょう。

- 子どもとの遊びの一環や、寝る前の習慣として絵本の読み聞かせをぜひうまく活用していただくと子どもの言語や情緒の発達につながり、子どもの興味・関心が広がります。
- まだ絵本の読み聞かせを始めていないという方は、週に数日、1日10分程度から絵本の読み聞かせを始めてみてはいかがでしょうか。絵本の読み聞かせを始めている方は、さらに本を好きになってもらえるよう子どもの興味・関心に合わせて絵本を選ぶことをおすすめします。

出典:「絵本の読み聞かせに関する調査(株式会社コズレ)」

- 絵本の選び方は、あなたが「子どもに読んであげたい!」と思っている本を選んでください。また、長く読み継がれてきた絵本の中から選ぶこともおすすめします。
- 子どもの育ちにそってゆっくりと絵本を楽しみながら、子どもと絵本のことを大事に育てていきましょう。

参考文献:「赤ちゃん絵本であそぼう!」金澤和子編著

Q どうして子どもは同じ絵本を何回も繰り返し読んでほしいのでしょうか?

A 大人が好きな音楽を何度も聞くように、子どもは同じ絵本を何度も味わいたいのです。その絵本を心から楽しんでいる証拠です。

(福音館の月間絵本「子どものとも」「かがくのとも」をご活用いただくためのQ&Aガイドブック より)

子どもが小さいころ寝る前に絵本を読んでいました。お気に入りの絵本だと「もう一回、もう一回」とせがまれ何回も繰り返し読みました。最後には私の方が寝てしまうこともあり...

今思うと懐かしい思い出です。そして、その子はパパになり、今子どもに絵本を読んで聞かせています。  
先輩ママのエピソード

## 絵本の紹介

- ・「どうぶつのおやこ」作・絵: やぶうち まさゆき (福音館書店)
- ・「いない いない ばあ」文: 松谷 みよ子/絵: 瀬川 康男 (童心社)
- ・「くだもの」作: 平山 和子 (福音館書店)
- ・「がたんごとん がたんごとん」作: 安西 水丸 (福音館書店)
- ・「きんぎょが にげた」五味太郎作 (福音館書店)
- ・「ぐりとぐら」なかがわりえこ作/おむらゆりこ絵 (福音館書店)
- ・「だるまさんが」かがくい ひろし作 (ブロンズ新社)
- ・「ぴょーん」まつおか たつひで作 (ポプラ社)



何を読んでいいかわからない時、ぜひ手に取ってみてください。図書館はもちろん、児童センター、コミュニティセンター等にも足を運んでみてください。

## ワーク2

これまでの話を聞いて考えたことや

これからこのようにやってみたい等を話し合ってみましょう

絵本の読み聞かせは、子どもの情緒や想像力を育て、  
ことばを覚える機会になります。  
また、親子のコミュニケーションにつながります。



絵本と一緒に子育てを楽しみましょう。親も子と共にゆったりと、  
スキンシップで十分甘えさせ 子どもの心と体を育てましょう！

### 親子でのふれあいのすすめ

#### 絵本を一緒に楽しみましょう

大人の落ち着いた優しい声と共に絵本に触れることで、子供の気持ちは安定していきます。大人と子供の一对一の関わりである読み聞かせは、絵本の世界と一緒に分かち合ったり、子供が大人の愛情を受け止めたりする経験になります。また、絵本は子供に新たな言葉との出会いをつくり、言葉の感覚や語彙を豊かにするとともに、子供のイメージの世界を広げます。

子供を膝に乗せたり、添い寝などをしたりしながら、絵本の読み聞かせをしてみましょう。



宮城県幼児教育推進指針

みやぎの学ぶ土台づくり より



### 6. 思いやり

#### いちばんすてきな本は、 お父さん・お母さんの声で読む本だ。

親のぬくもりを感じながら優れた絵本に接し、一緒に共感し合うひときは、子どもの感性や心を豊かにする貴重な時間になります。

食事の時間のように「本の時間」を設けるなど工夫して、少ない時間でもいいから毎日本を読み聞かせたり、親子で一緒に図書館へ行く、読み聞かせ会に参加するなど、小さいころから本に親しむ環境づくりを心がけましょう。

ただし、早くから難しい本を読ませるのは子どもの心にストレスを与え、かえって本嫌いにさせかねないので、控えましょう。



親が本を読んで聞かせる

家庭教育手帳「ドキドキ子育て」より

